

常陸大宮市教育委員会 8 月定例会議事録

- 1 会議の名称 常陸大宮市教育委員会 8 月定例会
- 2 開催日 令和 8 年 8 月 2 5 日（火）午前 1 0 時 0 0 分から
午前 1 0 時 4 9 分まで
- 3 開催場所 常陸大宮市役所 行政委員会室
- 4 出席者
 - （1）教育長 小野 司寿男
 - 教育長職務代理者 橋本 勇夫
 - 委員 宮本 亜希子
 - 委員 菊池 久義
 - 委員 楠 加代子
 - （2）事務局及び説明者
 - 教育部長 小室 修
 - 学校教育課長 小泉 博美
 - 生涯学習課長 高橋 誠二
 - 文化スポーツ課長 戸澤 睦
 - 指導室長 阿部 倫子
 - 学校教育課課長補佐 相田 英樹
 - 学校教育課主幹 梶山 明日香
- 5 報告
 - 報告第 2 0 号 教育長報告について
 - 報告第 2 1 号 指定学校の変更許可について
- 6 議案
 - 議案第 4 1 号 議会の議決を経るべき事件の議案の意見の申出について
 - 議案第 4 2 号 専決処分の承認を求めることについて（常陸大宮市公民館運営審議会委員の解嘱について）
- 7 協議
 - 協議事項 2 令和 8 年度常陸大宮市教育振興大会開催要項（案）について
- 8 その他
 - （1）各課及び教育委員の行事予定について
 - （2）教育委員会所管事務契約案件報告について

(3) その他

9 次回の定例会日程について

10 閉 会

11 傍聴人の人数 5人

12 会議の概要

小野教育長 本日の会議に5人の傍聴希望者がおりますので、報告いたします。

傍聴人の方は、注意事項を守って傍聴をお願いいたします。

本日の出席委員は全員です。

ただ今より、常陸大宮市教育委員会8月定例会を開会いたします。

(午前10時00分開会)

小野教育長 本日の議事録署名人の指名を行います。

議事録署名人に菊池久義委員を指名いたします。

本日の会議日程は、お配りした会議資料のとおりです。

それでは議事に入ります。

はじめに、「日程2 報告」を議題といたします。

報告第20号 教育長報告となりますので、私の方から報告いたします。

夏休み、あとわずかとなっておりますが、先月7月31日に後ほど報告がありますけれども、第5回の義務教育施設適正配置審議会が行われました。第6回が来月早々にあるということになっております。

8月4日に教育研究集会それから教育講演会がありまして、委員の皆様お世話になりまして、ありがとうございました。

16日から22日まで中学生の海外研修ということでオーストラリアへ、55名の中学3年生に参加していただきました。事故や怪我といったことも無く、ちょっと体調を崩した者が1人いて心配したんですけれども、無事帰国いたしまして、夜中の12時半近くまでかかってしまったんですが、お出迎えありがとうございます。

ざいました。学校の校長先生も来ていただきました。

それから20日までは、友好都市交流事業の一環として、大宮小学校の5年生13名が秋田県の大館市を訪問いたしまして、城南小学校の子どもたちと交流ですとか、秋田犬との交流、それからきりたんぼ作りや曲げわっぱ作りと。昨年は大宮小学校で城南小学校の6年生を迎えたんですけれども、今年は5年生がこちらからお世話になったということです。友好都市ということで、繋がりがあるということと同時に、城南小学校のお子さんが何十年か前に、城南小学校の前の町というのは、部垂っていう町なんですね。部垂町というところがありまして、これは常陸大宮市の部垂なんですね。佐竹の国替えのときに大館に行った人たちが故郷の名前を持って行って、住んだところにつけていたっていう。当時の小学生が、何でこんな遠いところに同じ名前の変った漢字の地名があるんだろうということから夏休みに調査に来まして、小学校同士の交流というのもそういったものがきっかけになって繋がってきたということです。こちらに来てもらったときには、西ノ内和紙の紙すきをやっていただいたりして。それから卒業記念として、大館市から杉の木の文房具を、こちらからは卒業証書の西ノ内和紙を大館市の方にお送りしている。この件がありまして、子どもたちは非常に元気よく交流していただいて、親善大使のような形で活動してくれたんですけれど、とても良かったということで、先日、教育長さん、それから教育委員会さんの方にお礼の電話を差し上げたら、去年に教育長さんが変わったばかりで、常陸大宮の子どもたちと初めて直接関わったんですけれど、非常にハキハキと本当に良い子どもたちで、全然こちらの大館の子たちとは違う雰囲気の子たちですねということで、お褒めか分からないんですけども、褒められたような気がしましたけれど、大館市の方でもぜひこれからも長く、こういった良いことは続けていきたいということで、大館市の教育にしてもそれから行政にしても、参考にすべきことはたくさんあるので、常陸大宮市としては。これから学んでいきたいかなと思っておりま

す。

それから、夏休み明けの対応が非常に必要になってくるときなので、休み明けということで、学校不適應気味の子どもですとか。これは休みに入る前に、それぞれの学校に指示はしてあるんですけども。ここ1週間くらいの間に、学校に来る前の連絡として、そういった子に。家庭訪問は今なかなか出来ないんですけども、メールやオンライン上のファンド等での会話ですとか、心配な子は直接先生が会うことも大事ですし、そういうことをして、なるべく9月に嫌な思いをしないで学校に来れるように、そういう配慮をしていきたいなと思っております。

それから今度、中学校の校長先生を集めまして、キャリア教育ということはどうも学校でもやっていますけれども、常陸大宮市でもそろそろそういったものを重点的に、将来の子どもたちが社会に出ていくための一つの力をつけることと、それから学校のキャリア教育が、地方自治の活性化を促す非常に大きな要因の一つとして研究されているところで、そういったものが将来のこの常陸大宮市に活かせるのであれば、やってみたいなという考えを持っている校長先生もたくさんいるので、その辺のことを協議しながら、事業を計画していければと思っております。報告は以上です。

ただいまの件について、質問があればお願いします。

無いようですので、次に移ります。

ここで皆様にお諮りいたします。

この後の「報告第21号」につきましては、個人情報に関する内容が含まれております。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第14条第7項の同項のただし書きの規定により、人事に関する事件その他の事件について教育長または委員の発議により、出席委員の3分の2以上の多数で議決したときは、会議を公開しないことになっています。

つきましては、個人情報保護の観点から、会議を非公開にしたいと思いますが、賛成の委員の挙手を求めます。

(委員全員 挙手)

小野教育長 全員一致ですので、報告第21号につきましては、非公開といたします。

傍聴人の方は、退席いただきますようお願いいたします。

それでは、会議日程に戻ります。

報告第21号 指定学校の変更許可について 事務局の説明をお願いいたします。

小泉学校教育課長 【報告第21号について提案・説明】

小野教育長 説明が終わりました。質問があればお願いします。

では、無いようですので、報告は以上になります。

ここで傍聴人に入室していただきます。

傍聴人の皆様、ご協力ありがとうございました。

続きまして、「日程3 議案」に入ります。

議案第41号 議会の議決を経るべき事件の議案の意見の申出について を議題とします。事務局の説明をお願いします。

小泉学校教育課長 【議案第41号について説明】

小野教育長 説明が終わりました。質問があればお願いいたします。

無いようですので採決に移ります。

議案第41号につきましては、原案のとおり可決することよろしいでしょうか。

各委員 〈異議なし〉

小野教育長 異議なしと認め、議案第41号につきましては、原案のとおり可決といたします。

次に移ります。

議案第４２号 専決処分の承認を求めることについて（常陸大宮市公民館運営審議会委員の解嘱について） を議題とします。事務局の説明をお願いします。

高橋生涯学習課長 【議案第４２号について説明】

小野教育長 説明が終わりました。質問があればお願いします。

任期が令和１０年の３月３１日までの委員さんなんですけれども、１人欠けるってということで１２名で行われると。別にこれは補完したりは。

高橋生涯学習課長 探して、やっていただければ増やしていくって形をとりたいと思っています。

小野教育長 分かりました。

他に無いようですので採決に移ります。

議案第４２号につきましては、原案のとおり承認することよろしいでしょうか。

各委員 〈異議なし〉

小野教育長 異議なしと認め、議案第４２号につきましては、原案のとおり承認いたします。

以上で議案が終了しました。

続きまして、「日程４ 協議」に移ります。

協議事項２ 令和８年度常陸大宮市教育振興大会 開催要項（案）について を議題とします。事務局の説明をお願いします。

小泉学校教育課長 【協議事項２について説明】

小野教育長 協議事項について説明が終わりました。ご意見・質問等をお願いします。

宮本委員 すみません。今、私の予定を見たら、小学校の学年末授業参観って入っ

ているんですが。

小野教育長 2月19日の大賀小学校。

宮本委員 はい。ただ、これは4月に出された予定なので、近くなったら変わる可能性もある。

小泉学校教育課長 これは午後開催なのですが、どうなのでしょう。

宮本委員 授業参観もだいたい午後なんです。

小泉学校教育課長 これは学校に行っておりますので、もしかしたら変更になるかと思う。

宮本委員 では学校の方が変わる可能性が高いということですね。分かりました。

小野教育長 他にございますか。

それでは、本件については、この案のとおり日程その他を行うということで、また、協議していただく事項があるということですのでよろしくお願いします。

続きまして、「日程5 その他」に移ります。

(1) 各課及び教育委員の行事予定について、事務局の説明をお願いします。

小泉学校教育課長 外 **【行事予定説明】**

小泉学校教育課長 **【教育委員の予定説明】**

小野教育長 ただいまの件について、質問があればお願いします。菊池委員どうぞ。

菊池委員 生涯学習課の校外活動体験事業については、これまでも行われてきたものですか。

小野教育長 生涯学習課長お願いします。

高橋生涯学習課長 こちらに関しましては、前年度まで宿泊交流体験事業という小学6年生を対象とした中で行ってきて、とても好評を得たもので、そちらを1日帰りで行うということで、今年度から新規事業として取り入れたものでございます。

菊池委員 4月7日に文科省から発出された通知文。この事業は学校じゃないですけ

れど、学校における校外活動の安全確保の徹底等についてという通知文が出されている。学校においては危機管理マニュアルの見直し・検討とか。その大きな理由は、この海上運送上というところだったんですね。辺野古で起きた女子生徒の事故・事件を受けて発出されたんですけれど。こうして見ると、いかだ体験とか、漁船体験等がありますので、このあたりの安全確保・安全管理について十分注意しながら、あるいは事業者とも確認し合いながら進めて、安全確保の徹底に努めてほしいというようなところですが、私が感じたのは。

それから私の経験で非常に痛い思いをしたこともありまして、1学年に150～160人いたんですけども、北浦で宿泊学習をやったんです。当然、下見っていうか実地踏査、学年の先生たちと実地に歩いて踏査をしたんですけども、そのときに、近くに犬がいると情報があって、そのことについては児童にも十分注意していたんですけども、実際、宿泊学習に行って、オリエンテーリングっていうんですかね。グループに分かれたら、子どもが犬に近づいて噛まれちゃったということがあったんですね。それで、犬を飼っている方にも迷惑をかけたし、当然噛まれた児童の家族の方にも謝らなければならなかった部分もあります。他にも潜在的な危険があるかと思いますので、そのあたりを十分注意しながら進めていきたいと思っています。

小野教育長 その他ございますか。橋本委員どうぞ。

橋本委員 宿泊学習がこちらになったっていうことは、小学校の宿泊学習関係はどんなふうになっているのかちょっと分からないので聞きたいと思うのですが。

小野教育長 生涯学習課長お願いします。

高橋生涯学習課長 昨年度に、宿泊交流体験事業の実行委員、また校長先生方から、宿泊の方は学校で企画をしてやりたい。体験事業の方はうちの方でっていうことで分けた形をとって今年から始まっています。なので、宿泊学習は各学校で行って、体験事業はこちらで活かしながら進めていきたいということで。

橋本委員 各学校ごとに宿泊学習を実施しているってことです。ありがとうございます。
ざいました。

小野教育長 涸沼とつくばは保護者からの反響が大きかったんですよね、すごくいい
ってことです。学校単位ではなかなかここまでのものが出来ないのです。

橋本委員 それでボランティアの方がなかなか大変だったんですよね。

高橋生涯学習課長 あとは学校の担任の先生に宿泊学習の企画とか運営をやらせたい
って学校の意見が多かったんです。

小野教育長 その他ございますか。

無いようですので、(2) 教育委員会所管事務契約案件報告について、事務局
の説明をお願いします。

小泉学校教育課長、戸澤文化スポーツ課長 【契約案件説明】

小野教育長 ただいまの件について、質問があればお願いします。

無いようですので、(3) その他について 事務局又は委員の皆さまから何か
ありましたらお願いします。宮本委員お願いします。

宮本委員 夏休みにいろいろな事業があったかと思うんですが、まず一つが8月16
日に出発したオーストラリア。教育委員会の方からも阿部先生ですとか相田さん
と梶山さんとありがとうございました。子どもがすごく生き生きとして帰ってき
ました。うちの長男が2年前に参加しまして、そのときからだいぶ内容が変わっ
たなど。コロナ後1回目だったということで、ホテル泊が2日、ホームステイも
2泊だったと思うんですが、そのときの内容から比べたら、やはり子どもたちに
ってはホームステイするってすごく緊張するし、不安もいっぱいだと思うんで
すが、やっぱりその中でやりきる、そこにいるってことが、まず葛藤しなが
らの良い経験だったのではないかなと思います。あとは行く前のアセスメントテ
ストもどういう内容なのかなと思って見たんですが、目的意識を持つためにいい
内容だなと思って。改善点がすごく見られて、また今年参加者も増えたので良か

ったなと感じました。

あとは同じ期間に里山キャンプも行われまして、これも第1回目からだいぶ改善が見られて。1回目は2万円近く18,000円だったのが、今回12,000円に金額も抑えられて。あとは内容的にも、まず大型バスでゆっくり行けたっていうのも良かったなっていう。金額が抑えられたけれども、中身がしっかりして、また参加人数も増えて、すごく皆さんの努力が形となって見えたので、すごく良かったなって思いました。里山キャンプで一つ思ったんですが、今年度からグループでの申し込みを採用したと思うんですが、あれの良かった点と、ちょっとまずかった点はどんな感じだったのかなって気になっていたんで、もしまとまっていたらお話を聞きたいなと思います。

小野教育長 生涯学習課長お願いします。

高橋生涯学習課長 里山キャンプでのことで、32名がMAXだったんですけど、今年度から40名まで増やしました。テントを思い切り全部使える範囲で40名としたんですけども。応募で良かった点は、同じ学校の同じグループの子どもたちが行けるのは良かったなと思うんですが、悪かった点で、どうしても40名ところ今年66名の応募がありまして、1人ずつであればグループに入れられるんですが、グループで応募になると、そこの中の1人が落ちてしまうとそのグループ全部を落とすしかない。そこが悪い点かなと思ひまして反省して考えていきたいと思ひます。

宮本委員 どちらの事業もすごく考えられて、ブラッシュアップされているので、いい方に変わっていただけたらなと思ひました。ありがとうございます。

小野教育長 その他、お願いいたします。学校教育課長どうぞ。

小泉学校教育課長 【第5回義務教育施設適正配置審議会について報告】

【奨学生及び特別奨学生の決定について報告】

小野教育長 ただいまの件について、質問があればお願いします。

その他ございますか。菊池委員お願いします。

菊池委員 7月の定例会で、学校教育課の小泉課長から渡されました生成A I利活用ガイドラインが8月1日から適用というような形で。あのときは十分理解することができなかったんですけども、うちに帰りまして、じっくり見てて、やっぱりこの生成A Iの利活用のガイドラインに沿って学校で進めていくってことは大事なことなんだなとつくづく感じた次第です。学校教育においては、主体的・対話的で深い学びとか、そうしたものを通して思考力・判断力・表現力を養うとか言われたりしてますけれども、生成A Iが入っていることで、その使い方を誤れば、学校教育の狙いそのものを減じるようなことになってしまいかねない。かといって、これを利用しないと遅れていってしまう部分があるので、非常に大切な内容だなと本当に感じたんですけども。各学校において、この利活用についてどんなふうに進められているっていう情報は入っていますか。

小野教育長 学校教育課でいいですか。お願いします。

小泉学校教育課長 まず私が知っている範囲で、生成A Iについては既に国の方ではそういったガイドラインが定められている中で、今回常陸大宮市の方では8月から先に教職員の皆様、後期が始まる10月から児童生徒の方が使えるっていうガイドラインを今回策定したことなんですけれども、既に学校の方では、一部の学校では、ガイドラインに基づいて一定の学校の先生方が使っているっていう情報が入っております。今回、常陸大宮市で定めた中で、9月に教務主任の先生方を全員集めて、今回のガイドラインについてきちんと説明して、説明後に児童生徒の方が適切に利用できるよう取り組みをする予定でおります。私が持っている情報はそのような形です。

菊池委員 次の学期、10月11月には学校訪問もありますので、その辺りも考えながら、教室とかそういったところを回ってみたいと思います。ありがとうございます。

小野教育長 いま菊池委員から伺ったことなんですけれども、まさしくこれからの教育の世界は、自分で物事を考えると。我々が小さい頃に教育として扱ってきた、読み書きそろばん。要するに実体験として、そのことを学ぶことが自分の力になっていく。このシステムは教育の基本として変わらないと思いますし、この間の新採の先生方の集まりでちょっと話をしたんですけれど。でも実際A I というのは、自由にいろんなものを組み合わせながら、自分で考えたわけでは無いんですが、こういうものはいかがでしょうかという形で出てくる。今でいうと大学の筆記テストは、ほとんど論述とか論文の方が試験のテーマになりますから、あそこはもう大混乱ですね、何年か前から。既にどういったA I がどんな答えを出してくるかっていうことを見抜くソフトがあって、そこに論文をかけて、これは駄目、これは良しと。残った人間はOKで、駄目ならもう1回再提出。今度、学生は別なものを使って追いかけてこです。イタチごっこで。結局その場しのぎで、確かに競争してそこに残らなければならないんですが、技術の話であって、考える頭の話では無いと。これから必要になってくるのは、もちろん小中学校の授業というのはそういう論述だけでは無いんですが、作文とかは、なぜそうなのかっていうことを自分の言葉でちゃんと手で書かせると。もちろんそれはタイプでもいいんですけれど。そういったものをちゃんと意識してカリキュラムに組み込まないと、子どもたちの育つ能力っていうのは、全くこちらが予想しているものとは違うものになってくる。でも世の中はそれを要求してくるというか、つまりA I を使いこなせる人間の方を大事にする。それですぐ職業がどんどん無くなっていて、心とか精神とかそういったものに関われる職業以外はみんなA I に取って代わられますよっていうことになっているんだと思うんですが。学校だけは違うと思うので、そこは教員が一番意識をして、日頃の学校・学級経営とかをしなければならぬ、そういうことだと思うんですけれども。そういう時代になったからこそ、やっぱり今まで大事にしてきた、書く訓練とか、考えさせる訓練。あとは

読書ですよ。文字を読んで何をどう考えるか。次はそれをアウトプットするため、自分の頭の中でどういった文章とか、ものを考えて出せるかっていう、その能力を持っていないと。つまり、そういう力を持っている人が使うAIってというのは、本当の価値があるものだと思うんですが。ただ、それをごまかすため、早くするために本質から離れるっていうのは、全くその通りだと思うので、それを常陸大宮市はちゃんと大事にしていきたいなと思うんですが。それよりも何よりもその前に、まずICTの活用に関しては決してうちは進んでおりませんので、できれば教員をつくば市あたりの推進校に派遣して。派遣というのは異動してもらうんですけれど、3年ぐらい。大変でしょうけれど、若い人に何人か行ってもらって、そして戻ってきてもらって常陸大宮市の中心になってもらうとか。そういうことをやりたいなとは考えています。ちょっと脱線しましたけれど、以上です。

菊池委員 私、おそらく高校生の頃なんですけれど、星新一さんってSF作家の「おかバさま」っていうのを読んだことがあるんですよ。その内容がまさしく。あの当時はAIとか、そういう言葉は無かったんです。コンピュータが支配する世の中っていうことだったんですけれども。人々が判断までコンピュータに任せて、それに従って生活する。そういう中で、コンピュータがカバを大事にしなさいっていう命令を出して、そしたらカバが増えすぎて、その下敷きになって死んじやったり交通事故が起きたりとか。そうしたことも実際その話の中で起きたんです。人々の中には、コンピュータに疑いを持つ人も出てきて、天変地異で気象が変わって、作物が育たなくなったときに、コンピュータがカバを食べなさいと。コンピュータっていうのは何年も先のそうした気候変動まで読んで、カバを大事にと言ってたのかと、人々はさすがだなということで感心していた。ある時、今度はコンピュータが虎を大事にしなさいと。大事にした結果、虎に食べられてしまった。そのときコンピュータはもう思考回路が少しおかしくなっていたっていうよ

うなオチが出ているんですけど、思考判断っていう大事な人間のところを怠ってしまうと、そういう危険性もあるよっていうストーリーだったんですけどね。そのことが私は頭に残っていて、生成A Iが出てきたので、本当に大切にするとことはしていかないと、人間ってやっぱり使わないと衰えていってしまう。筋肉もそうだし、書く力なんかもそうなので。思考それから判断、そうしたところは大事なところなんだろうなって、そんなのがガイドラインに載っていたので、これに則って進めていく。国の方からも出ているということですけども、大事にして取り組んでほしいなと思ったところです。

小野教育長 他にございますか。

無いようですので、続きまして、「日程6 次回の定例会日程について」事務局からお願いします。

小泉学校教育課長 (9月定例会について日程調整)

小野教育長 ありがとうございました。

それでは、次回定例会は、令和8年9月25日 金曜日、午前10時より開催することにいたします。

以上をもちまして、常陸大宮市教育委員会 8月定例会を閉会いたします。

(閉会：午前10時49分)